

量的・質的金融緩和の銀行業界への影響

根本直子
マネジング・ディレクター
スタンダード・アンド・プアーズ・レーティングジャパン

2013年10月24日



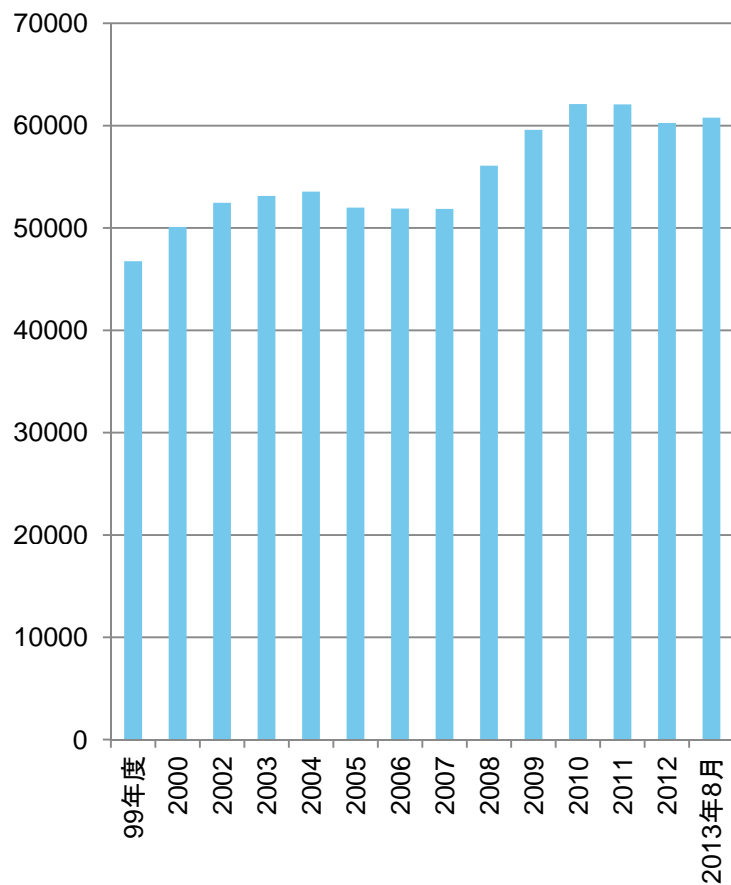
事業会社の信用力見通しは円高調整、景気回復から改善

表1 2013年度後半 国内事業会社：主な業界の見通し

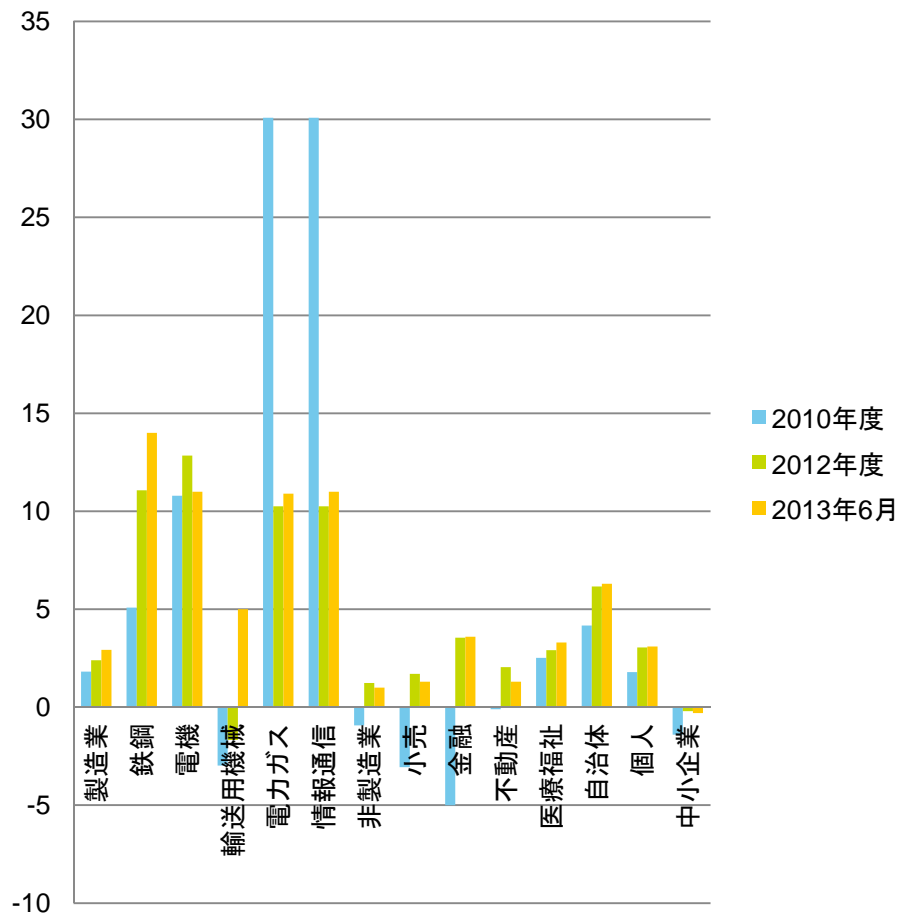
業種	2013年前半との比較	今後6カ月の業界アウトルック	今後6カ月の国内事業会社の格付けトレンドの方向性予想
消費財	やや改善	安定的	安定的
ガラス	変わらず	安定的からネガティブの間	下方
鉄鋼	変わらず	ネガティブ	安定的
医薬品	変わらず	安定的	安定的
建設機械	変わらず	安定的	安定的
総合電機	やや改善	安定的	安定的
民生エレクトロニクス	やや改善	安定的からネガティブの間	やや下方
電子部品	やや改善	安定的	安定的
自動車	やや改善	安定的	安定的
重工業	変わらず	安定的	安定的
カメラ・複写機・プリンター	変わらず	安定的	安定的
総合商社	変わらず	安定的	安定的
総合小売り	やや改善	安定的	安定的
不動産	やや改善	安定的	安定的
J-REIT	やや改善	安定的	安定的
運輸(海運)	やや改善	安定的	安定的
通信	変わらず	安定的からネガティブの間	やや下方
電力	変わらず	ネガティブ	下方
大手都市ガス	やや改善	安定的	安定的
出所:スタンダード&プアーズ			

国内の貸出は回復しつつあるが、一部業種を除いて回復力は弱い

普通社債発行残高

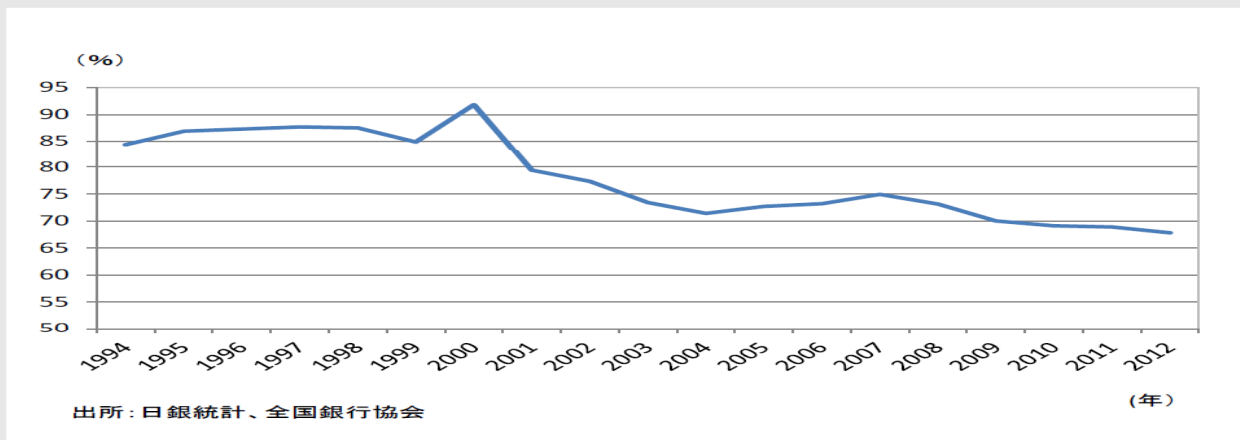
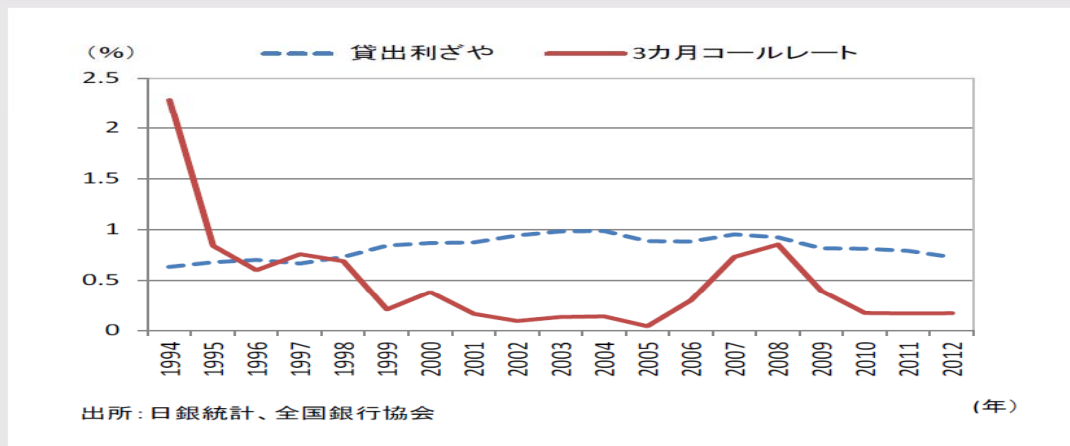


全国銀行、業種別貸出残高前年比 (%)



預貸率（下段）の低下にみられる需給関係が利ざやの改善を制約、リスクプレミアムの確保を阻害する面も

図3 全国銀行の貸出利ざやと短期市場金利（％）



(ご参考) 金利上昇の耐久度

金融不安: 所要自己資本比率の達成が困難になる状況と想定

普通株等Tier1比率、コア自己資本比率5.5%を基準とする

国内基準行は資本をヒットしないが1)投資家、預金者の懸念、2)内部でのリスク管理と資産削減の可能性を考慮

株の含み益を入れると、都銀5.0%、地銀4.5%、第二地銀2.6%(パラレルなシフトを前提)

金利上昇による債券評価損が規制上の自己資本から控除された場合の自己資本比率

	普通株等Tier1比率・コア資本比率 (株含み益考慮なし)					普通株等Tier1比率・コア資本比率(株含み益考慮)				
	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
金利上昇幅	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
大手行	8.3%	7.4%	6.5%	5.6%	4.7%	9.1%	8.2%	7.3%	6.4%	5.5%
地銀	9.4%	8.0%	6.7%	5.4%	4.1%	10.2%	8.9%	7.5%	6.2%	4.9%
第二地銀	7.1%	5.9%	4.7%	3.5%	2.3%	7.5%	6.3%	5.1%	3.9%	2.7%

(注) 2013年3月の債券保有額、自己資本、リスク資産をベースとしている。税効果は勘案。バーゼルIII完全適用ベースの普通株等Tier1比率、コア資本比率は開示されていないので、仮定の上で計算。DurationはIR資料、開示資料から推計。

所要自己資本水準 (国際基準行) 国内基準行はコア資本比率4%

	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
普通株等Tier1比率	3.5%	4.0%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%
普通株等Tier1比率+資本保全バッファ	3.5%	4.0%	4.5%	5.1%	5.8%	6.4%	7.0%

個別行レベルでは耐久性に大きな違い

- 都銀、地銀112行(2013年3月末)のうち、金利上昇2%では3割の34行が未達成となる(株の含み益を入れると28行)
- 自己資本が低い銀行、預証率が高い銀行は金利上昇に対しより脆弱
- 金利リスクのとり方は銀行により違いが大きい(債券のデュレーション、大手行2~4年地銀0.3年~7年)
- 市場は将来の予想を早期に織り込む。株価や市場性資金への影響もありうる

金利上昇があった場合に自己資本比率5.5%を下回る銀行数(株式含み益を含まない<上段> 含む<下段>)

所要水準	5.50%				
銀行数					
金利上昇	1%	2%	3%	4%	5%
大手行	0	1	2	3	4
地銀 I	5	13	32	47	51
地銀 II	8	20	29	36	40

所要水準	5.50%				
銀行数					
金利上昇	1%	2%	3%	4%	5%
大手行	0	0	1	2	2
地銀 I	4	9	24	39	48
地銀 II	7	19	29	32	37